

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-60736

⑬ Int. Cl.⁸

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)5月7日

F 16 F 9/46
B 60 G 17/027
F 16 F 9/32

A

8714-3J
7270-3D
8714-3J

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 ばね定数可変型油圧緩衝器

⑯ 実 願 昭63-140110

⑰ 出 願 昭63(1988)10月27日

⑱ 考 案 者 浜 野 和 夫 埼玉県行田市谷郷2-17-8

⑲ 出 願 人 株式会社昭和製作所 東京都中央区日本橋3丁目3番9号

⑳ 代 理 人 弁理士 下田 容一郎 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

油圧緩衝器のシリンダ本体又はピストンロッドの一方に取付けられるとともに内側壁及び外側壁を有するケーシング内を隔壁によつて第1油室と第2油室に画成し、第1油室には第1ピストンを、第2油室には第2ピストンをそれぞれ設け、また前記内側壁外周面には第1懸架スプリングの一端を受ける第1スプリングシートを、外側壁内周面には第2懸架スプリングの一端を受ける第2スプリングシートをそれぞれ摺動自在に配設し、前記第1ピストンと第1スプリングシートとの間には第1補助スプリングを、第2ピストンと第2スプリングシートとの間には第2補助スプリングをそれぞれ介設したことを特徴とするばね定数可

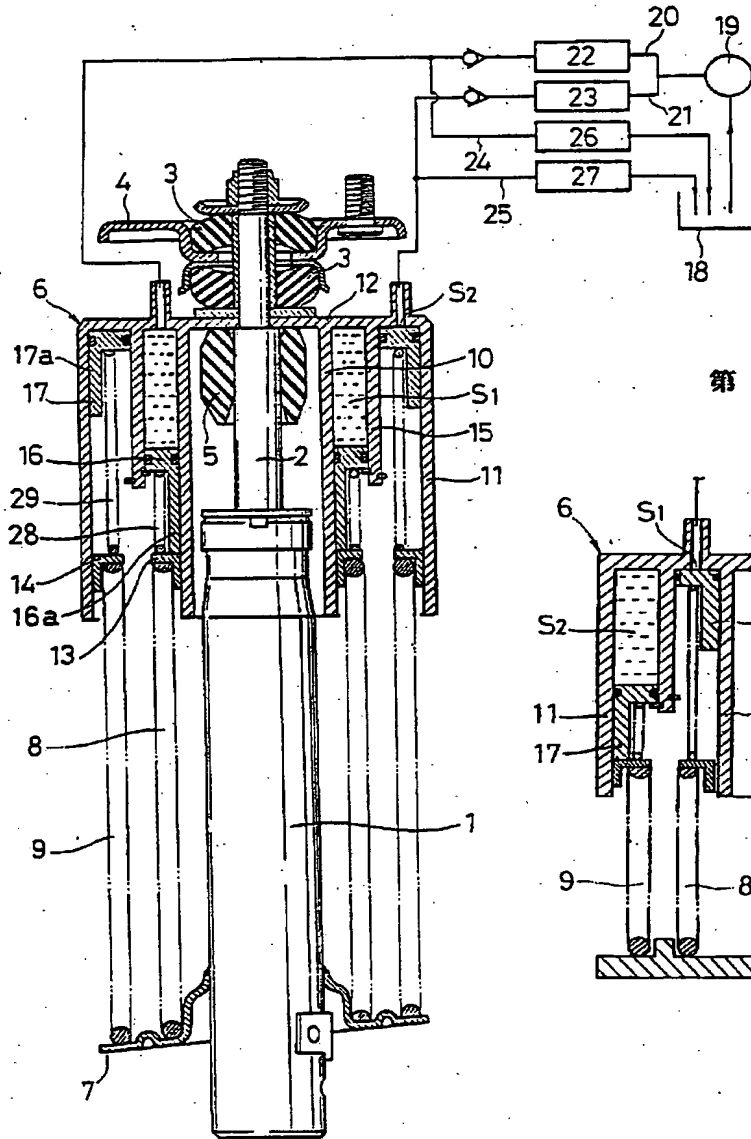
変型油圧緩衝器。

図面の簡単な説明

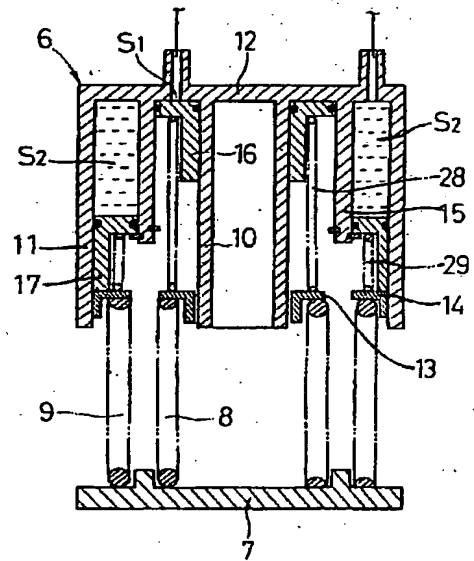
第1図は本考案に係る油圧緩衝器の断面図、第2図乃至第4図は作用を示す緩衝器の要部断面図である。

尚、図面中1はシリンダ本体、2はピストンロッド、6はケーシング、8は第1懸架スプリング、9は第2懸架スプリング、10は内側壁、11は外側壁、13は第1アツパススプリングシート、14は第2アツパススプリングシート、15は隔壁、16は第1ピストン、17は第2ピストン、28は第1補助スプリング、29は第2補助スプリング、S1は第1油室、S2は第2油室である。

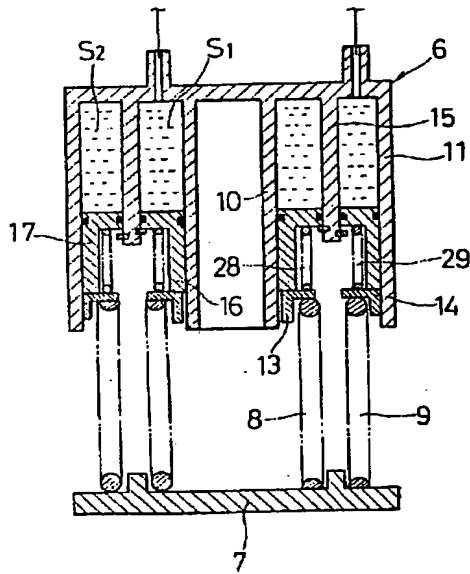
第 1 図



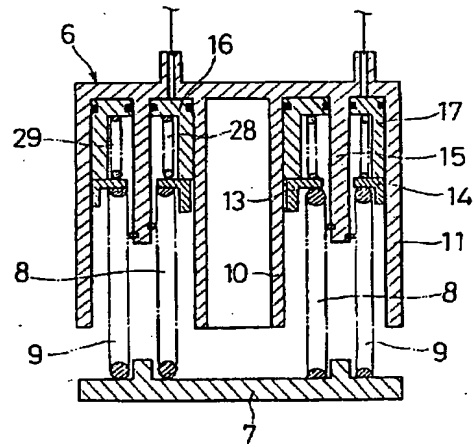
第 2 図



第 3 図



第 4 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)